

松本藩の年表

この年表は、松本城の発展や人々の暮らしに影響を与えた、松本藩の主な出来事を紹介したものである。

松本藩は、現在の長野県北西部を含む地域で、大名と呼ばれる領主によって支配されていた。江戸時代（1603～1867）、日本は何百もの藩に分割され、大名は大きな城郭に住み、地方行政の中心的役割を担っていた。

大名が領内で過ごす時間は、その半分程度であった。徳川幕府は、すべての大名に江戸（現在の東京）の将軍家の城近くの別邸に定期的に出向くことを義務づけていた。一方、大名の妻や子供たちは、政治的な人質として江戸に常住していた。この制度は、各大名が政治的、経済的に力をつけることを制限し、幕府に対する反乱を起しにくくするものであった。